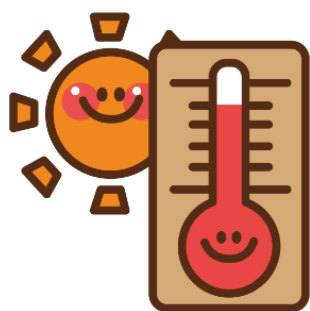




夏至げしの日に思うこと

2021 年 6 月 21 日は夏至です。夏至の頃、足立では太陽が高いところまで上ります。昼の時間も長くなります。これから「夏本番」と言いたいところですが、関東地方では例年7 月半ばの梅雨明けまで待たされることになります。そのためか、このあたりでは夏至はあまり注目されないようです。夏の時季が短い北欧などでは「夏至祭」の風習が残っています。

一年で最も暑くなるのが夏至ではなく、1 ヶ月以上もあとの 8 月なのは不思議な感じがします。梅雨のない北海道や外国でも 8 月は暑いのですから、雨とは別の理由がありそうです。



私たちが暑いと感じるのは大気の温度（気温）が高いからです。太陽が地面や海を温めると、今度はそれらが大気を温めます。地面や海に蓄えられた熱が南から風として運ばれて来ることによって気温が上昇します。晴れた日に、太陽が最も高くなるお昼頃よりも午後 2 時頃の方が気温が高くなる理由と似ています。また、山から風が下って来るとそれだけで温度が上がる現象もあります。

大地や海は熱を受けると温度はゆっくり上がり、熱を奪われると時間をかけてゆっくり下がります。海（水）はこの性質が特に強いです。鉄などの金属がさっと熱くなったり、さっと冷えたりするのと逆の性質です。夏至は一番暑い時季への入り口。これからやってくる暑い夏に備えましょう。